



2020年3月5日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)

アンジェス、大阪大学が新型コロナウイルス(COVID-19)に対するDNAワクチン共同開発に着手

当社では、HGF 治療用製品においてDNAプラスミド製品を上市した実績を元に、大阪大学と共同で新型コロナウイルス対策のための予防用DNAワクチンの開発を行うことを決定いたしましたことをご報告いたします。

<DNAプラスミド製造技術を用いた新型コロナウイルス向け予防用DNAワクチンの開発>

- 当社および大阪大学が有するDNAプラスミド製品の開発実績を生かし、コロナウイルスの予防用DNAワクチンを共同開発
- DNAワクチンの製造は、不活化ウイルスをワクチンとする方法(弱毒化ワクチン)や遺伝子組換えウイルスタンパク質をワクチンとする方法に比べて、短期間で製造プロセスを確立することが可能
- 製造はプラスミドDNAの製造技術と製造設備を有するタカラバイオ株式会社が担当

<DNAワクチンとは>

DNAワクチンは、危険な病原体を一切使用せず、安全かつ短期間で製造できる特徴があります。対象とする病原体のたんぱく質をコードする環状DNA(プラスミド)を接種することで、病原体たんぱく質を体内で生産し、病原体に対する免疫を付与します。弱毒化ワクチンとは異なり、病原性を全く持たないため、安全です。

なお、今年度の通期連結業績に与える影響は現在精査中です。

お問い合わせ先

アンジェス株式会社 社長室 広報・IR 担当 03-5730-2641

以上